

『ワークアウト解剖生理ブック』第1版第1刷 正誤表

『ワークアウト解剖生理ブック』第1版第1刷(2021年2月15日発行)につきまして、以下のとおり、誤りならびに修正箇所がありました。ここにお詫びするとともに、訂正させていただきます。

2021年9月 サイオ出版

問題集

頁	訂正箇所	誤	正
31	問題 11 選択肢 1	1. 副甲状腺刺激ホルモン	1. 副甲状腺ホルモン

解説集

頁	訂正箇所	誤	正
25	問題 36 解説文	<引用元不掲載:解説の最終行>	(藤本悦子、有田広美：グリセリン浣腸、p.P91～98、藤本悦子編者、解剖生理学から見直す看護技術、Nursing Mook 70、2012)
68	問題 41 解答	解答 1	解答 4
	問題 42 設問	問題42 脈管で正しいのは……	問題 42 胸管で正しいのは……
	問題 42 解説下から3行目	……左右の脈管(リンパ管)……	……左右のリンパ本幹……
91	問題 59 解答	解答 4	解答 1
108	問題11 選択肢 1	1.副甲状腺刺激ホルモン	1. 副甲状腺ホルモン
116	問題45 解答	解答 2	解答 3
122	問題66 出題回数	第98回	第 99 回
130	問題20 解答	解答 3	解答 2
145	問題50 解答	解答 4	解答 3
169	問題24 出題回数	第106回	第 105 回
	問題25 出題回数	第106回	第 105 回
177	問題27 解答	解答 3	解答 1

解答の修正に伴う解説の修正 (p.68の問題42は、解答は正しいですが、解説を修正します)

p.68 循環器系 問題 41 解説

血圧計の高さは患者さんの心臓の高さに一致させる必要はありません。上腕の位置に、正確には上腕動脈がマンシェットのゴム袋部分の中央になるように、マンシェットを巻いて、血圧を測るので、上腕の位置が心臓の高さとなるように調節します。血圧は心臓の血液駆出力を反映するので、測定部位が心臓より高ければ血圧値はその高低差の圧だけ低くなり、心臓より低ければ同様に高くなります(引用：深井喜代子、前田ひとみ編：基礎看護学テキスト、改訂第2版、南江堂、2015)。またマンシェットの幅は測定部位の幅に合わせて選びます。上腕全体を覆う幅だと血圧が低く出て、幅が狭いと血

圧が高めに出ます。触診法による血圧測定では、70mmHgまで速やかに加圧し、それ以後は10mmHgずつ、橈骨動脈で脈拍を触れなくなるまで加圧します。さらに20～30mmHgまで加圧します(加圧終了)。加圧後、2mmHg/秒程度で減圧します。脈が触れ始めるまで減圧します。脈が触れ始めた時点の圧を収縮期血圧とします。測定後は速やかにバルブを全開にして減圧します。
*触診法で収縮期血圧をある程度見極め、次に聴診法でより正確に収縮期血圧と拡張期血圧を測定します(引用元：診察と手技がみえる Vol.1、第2版、メディックメディア)。それゆえ、正解は4です。

p.68 循環器系 問題42 解説

胸管は左頭頸部、左胸部、左上肢、ならびに肋骨より下の全身からのリンパを受け取ります。リンパ管は脂肪の消化・吸収やがん細胞の転移や間質液から余分な水分の除去などに関係しています。胸管は左リンパ本幹ともいい、左右のリンパ本幹はそれぞれ左右の静脈角で静脈に合流します。それゆえ、2が正解です。リンパ管には弁があります。主に脂肪を輸送し、主にはタンパク質は輸送しません。

p.91 神経系 問題59 解説

Aさんは他人が言った「めがねをとってください」のことを「めとねをとってください」などと話す様子が観察されます。このことからAさんは音の一部を誤る音韻性錯誤の症状が認められるので、正解は1です(参考:病気がみえるVol.7、脳・神経、第2版、p.162、メディックメディア)。

p.116 内分泌系 問題45 解説

低血糖症状には自律神経症状として、発汗や手指の振戦、動悸、不安感などがみられることがあります。それゆえ、正解は3です。

自己血糖測定の試験紙の費用は公的医療保険の対象内です。食事を摂取できないときは、脂肪分解によるケトン体が増加し、ケトアシドーシスが生じることがあります。それゆえ、自己判断でインスリンの注射を中止せず、主治医に連絡する必要があります。1型糖尿病の人が朝食前に運動すると、低血糖になるため危険です。

p.130 筋骨格系 問題20 解説

頭蓋冠は脳を取り囲む頭蓋のうちの上半分、すなわち前頭骨・頭頂骨・後頭骨・側頭骨からなる。これらの骨は縫合とよばれる特殊な骨の連結からなります。脊柱は椎骨から構成され、上下の椎骨間に関節と線維軟骨結合があります。寛骨は元来、恥骨、坐骨、腸骨と呼ばれる3つの骨が骨結合によって結合したものです。仙骨は元来、5個の仙椎が骨結合したものです。それゆえ、正解は2です。

p.145 呼吸器系 問題50 解説

慢性閉塞性肺疾患は、主にタバコなどの有害物質を長期間にわたり、吸入することで肺に炎症と破壊が生じる病気で、不可逆性の気流閉塞(気流制限)が特徴として認められる疾患です。肺の破壊、つまり肺の弾性収縮力の原因となっている肺胞壁の破壊が起こっています。その結果、肺の弾性収縮力が低下し、肺がふくらみすぎた(コンプライアンスの上昇した)状態になり、呼気の流速も低下し、気道が狭窄し、または閉塞しやすくなり、息をうまく吐き出すことができません。それゆえ、残気量が増加し、%肺活量も低下します。それゆえ、正解は3です。

p.177 老化 問題27 解説

老視(老眼ともいう)は加齢により毛様体、毛様小体(チン小体)、水晶体の調節力が低下し、近くのものが見えにくくなった状態です。それゆえ、1は正解です。色覚異常は錐体(細胞)に遺伝的な異常があり、起こります。眼圧の亢進ではありません。視野狭窄は周囲から徐々にみえる範囲が中心に向かって狭くなることで、緑内障や網膜剥離でみられます。散瞳反応時間の延長はありません。明暗順応の低下は水晶体の硬化ではなく、視細胞の機能低下が原因です。